周波数調整器設定ソフト取扱説明書（ＰＣ使用）

お使いになる前に

「周波数調整器」をご使用する前に周波数調整器ＵＳＢドライバソフトと周波数調整ライブラリ及び周波数調整器設定ソフトをまずインストールしてください。

１．周波数調整器ユニット USB ドライバインストール手順

1.1　周波数調整器ユニットの接続
1.2　周波数調整器ＵＳＢドライバのインストール

２．周波数調整ライブラリインストール手順

2.1　周波数調整ライブラリインストール
2.2　周波数調整器設定ソフトインストール

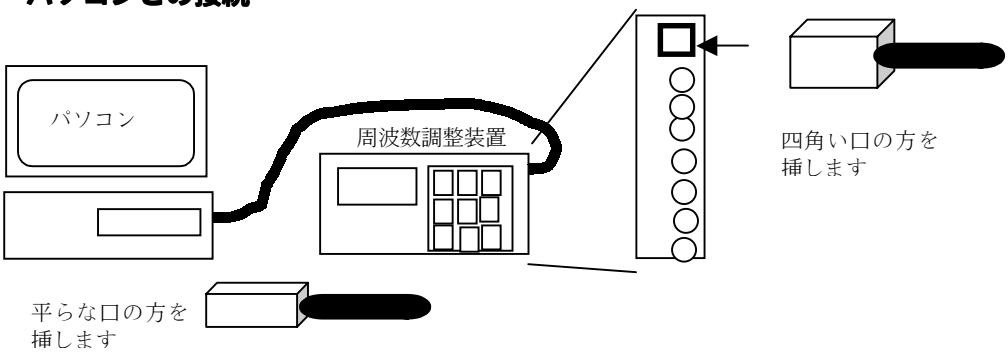
３．周波数調整器設定ソフトの仕様と取扱説明

3.1　概要
3.2　仕様
3.2　取扱説明
3.4　モジュール構成

１．周波数調整器ユニット USB ドライバインストール手順

１．１周波数調整器ユニットの接続

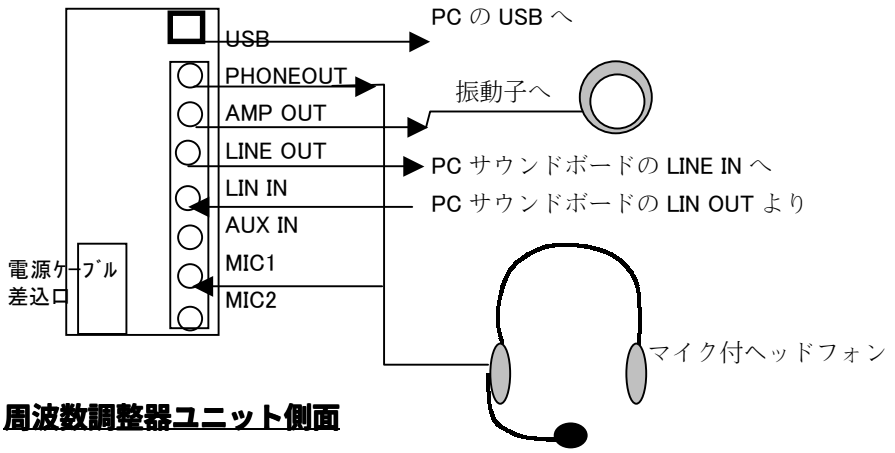
１．１．１　パソコンとの接続



1)　Ｗｉｎｄｏｗｓ９８の終了します（推奨)。またはＷｉｎｄｏｗｓ９８が起動したままの状態で全てのアプリケーションを終了します。
2)　周波数調整器とパソコンをＵＳＢケーブルでつなぎます（装置の電源は切っておいてください)。平らな口の方をパソコンのＵＳＢ接続コネクタに、四角い口の方を周波数調整器のＵＳＢ接続コネクタに接続します。

１．１．２　ヘッドフォンと振動子の接続

ヘッドフォン、マイク、振動子、ライン入出力を以下のようにつなぎます。接続を間違えないようにしてください。



周波数調整器ユニット側面

接続先一覧を次に示します。

PC サウンドボード	周波数調整器	周辺機器
SPEAKER OUT		スピーカー
LINE OUT	LINE IN	付属ミニステレオジャックコード
MIC IN		
LINE IN	LINE OUT	付属ミニステレオジャックコード
	MIC1 IN	マイク付ヘッドフォン（MIC)
	MIC2 IN	
	AMP OUT	振動子
	AUX IN	
	PHONEOUT	マイク付ヘッドフォン（HEADPHONE)

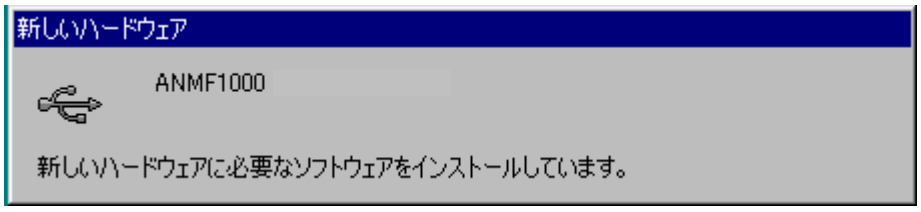
１．２　周波数調整器ＵＳＢドライバのインストール

Ｗｉｎｄｏｗｓ９８を立ち上げて、”花鼓Ⅱ”ＣＤ－ＲＯＭをセットします。

ＵＳＢコードで、パソコンと周波数調整器をつなぎ、装置の電源を入れます。

Ｗｉｎｄｏｗｓ９８のＵＳＢドライバがインストールされている場合、周波数調整器が自動認識され、ドライバのインストールが始まります。

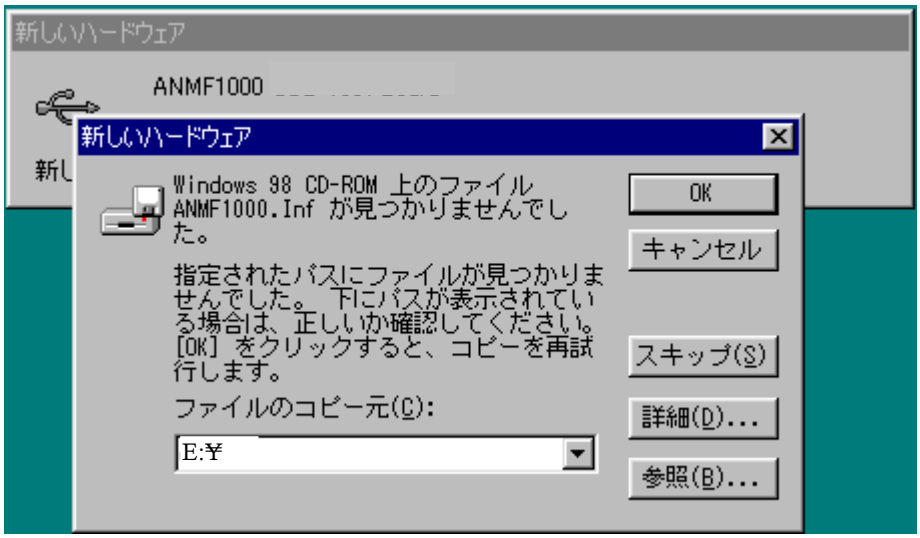
（ＵＳＢドライバがインストールされていない場合、このインストールが始まります。Ｗｉｎｄｏｗｓ９８のＣＤ－ＲＯＭをセットし、画面の指示に従い順次インストールを行なってください。）



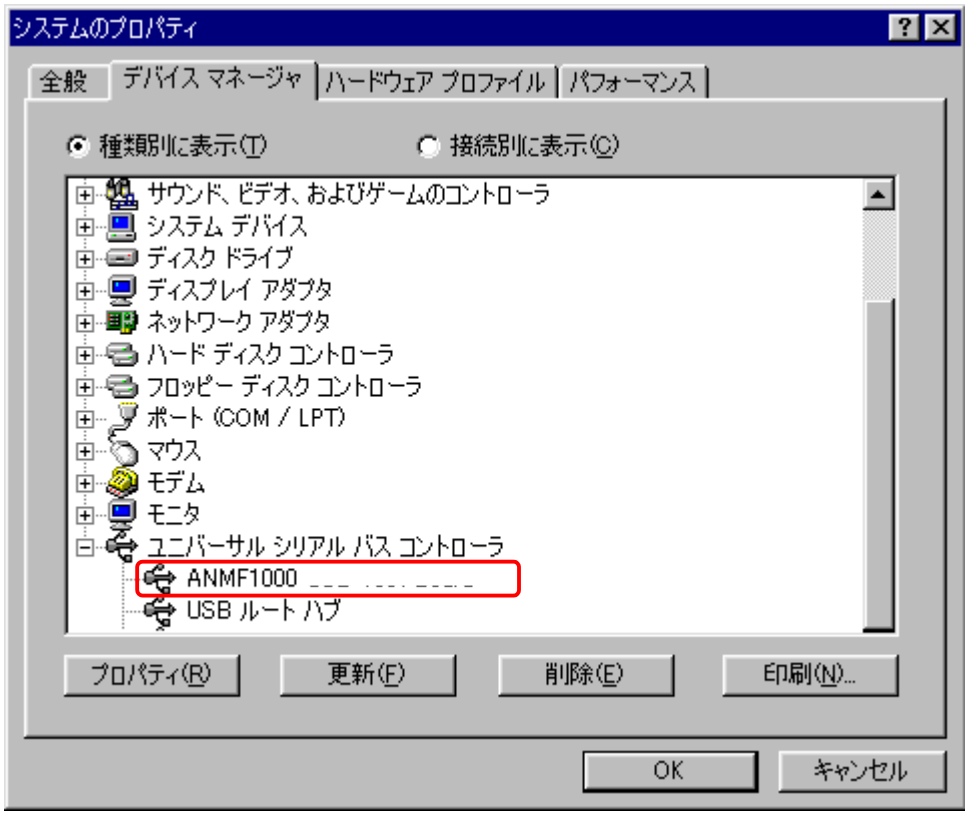
（この前に“新しいハードウェアを検出しました“という画面が出ますが省略します。）

ドライバファイルの挿入を促してくるので、ＣＤ－ＲＯＭの中にある“ＵＳＢ”と書かれたフォルダーを選択し、［OK］を押下します。ドライバのインストールが行なわれます。

例）ＣＤ－ＲＯＭドライバがＥドライブの場合、
E:\
と指定します。



ドライバのインストールが終了したら、周波数調整器を接続した状態で、［スタート］メニューより［設定］→［コントロールパネル］を選択し［システムのプロパティ］を開きます。［デバイスマネージャ］を選択して“ユニバーサルシリアルコントローラ”配下に“ANM－Ｆ1000 ”があるか確認してください。



以上で周波数調整器の接続とインストールは完了です。

2.周波数調整ライブラリインストール手順

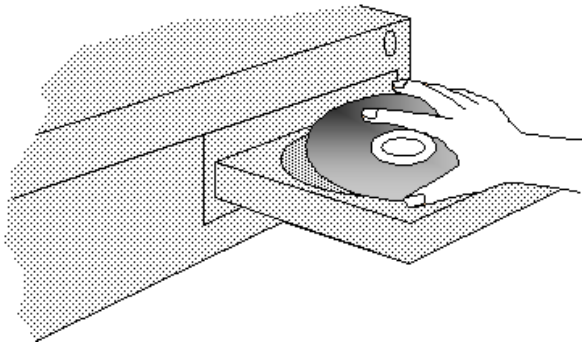
2.1 周波数調整ライブラリインストール

周波数調整器ユニットのドライバプログラムと、周波数調整ライブラリ（周波数調整器設定用のプログラム）をコンピュータにインストールします。

インストールの前に、“１.1　周波数調整器ユニットの接続”で説明したとおりに周波数調整器がパソコンに接続されていることを確認してください。また、振動子とマイク付きヘッドフォンが接続されていることを確認してください。

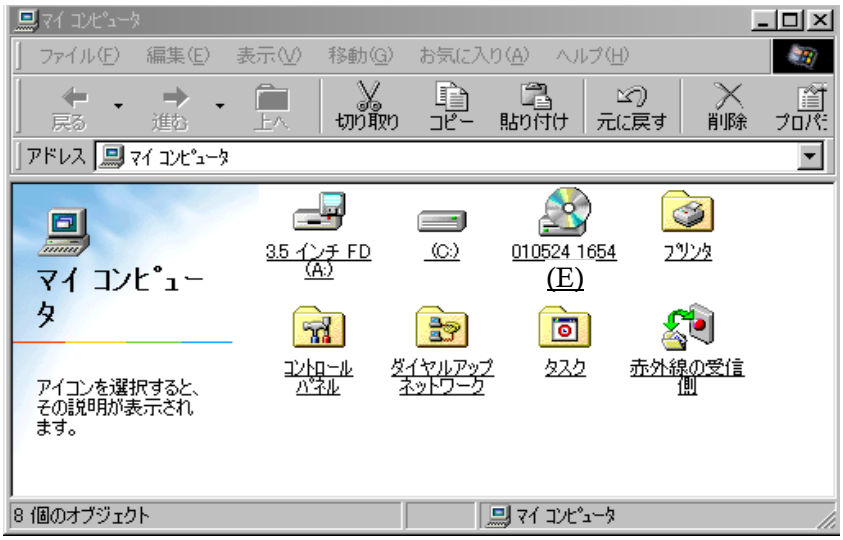
「周波数調整器設定ソフト」の CD-ROM が CD-ROM ドライブに入っているのを確認してください。

周波数調整ライブラリは、続けてインストールします。



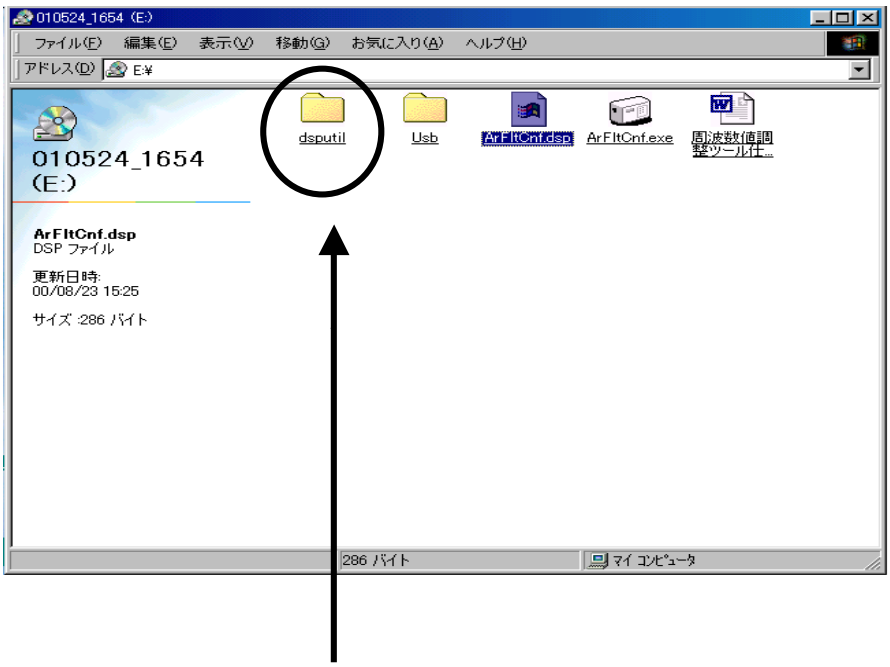
１）　「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックします。

マイコンピュータの内容が表示されます。



２)CD-ROM のドライブのアイコンをダブルクリックします（この図は、CD-ROM ドライブが「E：」ドライブの場合です)。

CD-ROM の内容が表示されます。



3) Dsputil フォルダーの中の「start.exe」のアイコンをダブルクリックします。「周波数調整ライブラリ」のセットアップが始まります。インストール先を選択する画面が表示されます。

4)インストール先を変更する場合は、［参照…］ボタンを押してインストール先のフォルダを指定します。通常は変更する必要はないので、そのまま［次へ>］ボタンを押してください。

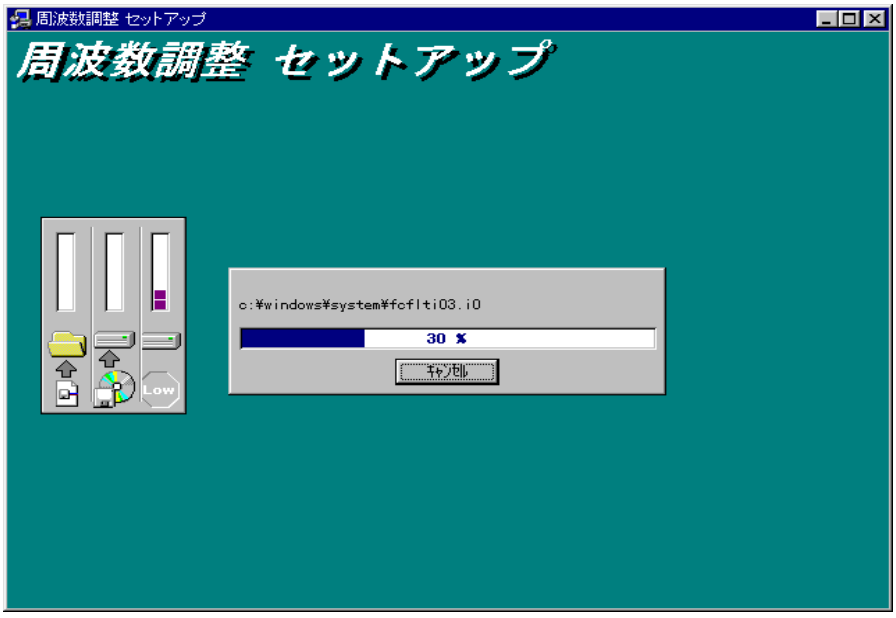
プログラムフォルダを選択する画面が表示されます。

5) プログラムフォルダは変更する必要はないので、そのまま［次へ>］ボタンを押してください（どうしても変更したい場合は、プログラムフォルダ名を変更してもかまいません）。

使用する周波数調整器のタイプが問い合わせられます。

6) 「USB タイプ」）を選択して、［次へ>］ボタンを押します。

「周波数調整ライブラリ」のインストールが始まります。



インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

7)［完了］ボタンを押します。

2.2 周波数調整器設定ソフトインストール

次に引き続き周波数調整器設定ソフを下記手順でトインストールして下さい。

１）ＣＤ―ＲＯＭの中にある周波数調整器設定フォルダをフォルダごと
コピーしてパソコンのＣ：￥ドライブに貼り付けを行ってください。

２）Ｃ：￥周波数調整器設定フォルダの中に下記ファイルがあることを確認して下さい。

- ＡｒＦｌｔＣｎｆ．ｄｓｐ
- ＡｒＦｌｔＣｎｆ．ｅｘｅ
- 周波数調整器設定ソフト取説

３）以上でインストールが完了です。

４）周波数調整器設定ソフト取説が本取扱説明書です。

３．周波数調整器設定ソフトの仕様と取扱説明

３．１概要

USB 周波数調整器（ANM-F1000）の単体使用を考慮し、値の設定を簡単に実現できることを目的としてます。

３．２仕様

周波数調整器設定ソフトは USB 周波数調整器（ANM-F1000）を単体使用する場合にパソコンにて周波数値等を設定することができます。
設定できる値は次の通りです。

項目		通常時内容	拡張時内容
訓練者の設定			
低域	周波数調整	使う／使わない	使う／使わない
	周波数（Hz）	0/200/250/300/320/400/500	0～5000(1 刻み)
	遅延時間（秒）	0.00～0.30(0.01 刻み)	0.00～0.30(0.01 刻み)
	大きさ（%）	0～100(10 刻み)	0～100(1 刻み)
高域	周波数調整	使う／使わない	使う／使わない
	周波数（Hz）	0/2000/2500/3000/3200/4000/5000	0～5000(1 刻み)
	遅延時間（秒	0.00～0.30(0.01 刻み)	0.00～0.30(0.01 刻み)
	大きさ（%）	0～100(10 刻み)	0～100(1 刻み)
練習音声の設定			
低域	周波数調整	使う／使わない	使う／使わない
	周波数（Hz）	0/200/250/300/320/400/500	0～5000(1 刻み)
	大きさ（%）	0～100(10 刻み)	0～100(1 刻み)
高域	周波数調整	使う／使わない	使う／使わない
	周波数（Hz）	0/2000/2500/3000/3200/4000/5000	0～5000(1 刻み)
	大きさ（%）	0～100(10 刻み)	0～100(1 刻み)

[ツール起動時の確認]
周波数調整装置が USB 接続されていない場合、その旨エラーメッセージを出して起動しません。
周波数調整装置が動かない状態の場合、その旨エラーメッセージを出して起動します。
起動時には以下のデフォルト値を表示します。

項目		デフォルト値
訓練者の設定		
低域	周波数調整	使う
	周波数（Hz）	300
	遅延時間（秒）	0.00
	大きさ（%）	50
高域	周波数調整	使う
	周波数（Hz）	3000
	遅延時間（秒	0.00
	大きさ（%）	50
練習音声の設定		
低域	周波数調整	行う
	周波数（Hz）	300
	大きさ（%）	50
高域	周波数調整	行う
	周波数（Hz）	3000
	大きさ（%）	50

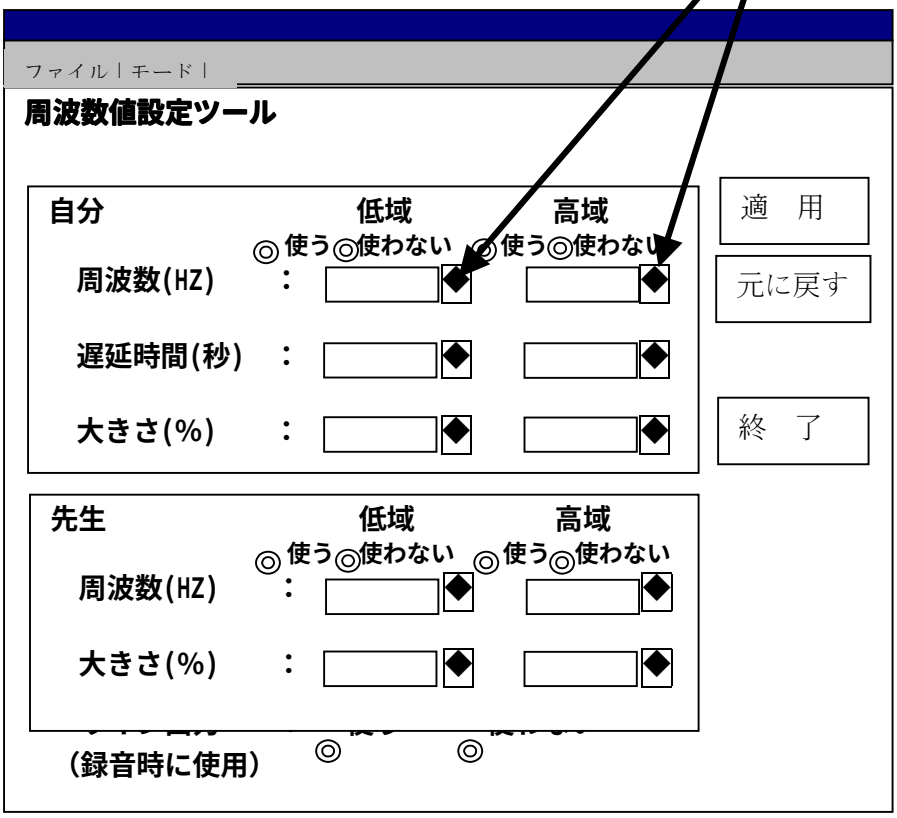
３．３取扱説明

３．３．１設定ソフト起動方法

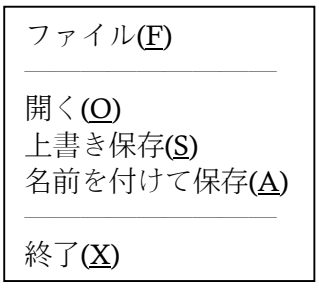
周波数調整器への設定値はファイルに保存できます。実行モジュールと同一ディレクトリ配下の"ArFltCnf.dsp"がデフォルトの入出力対象となります。また、標準モードと拡張モードの２種類の入力モードをサポートし、標準モードでは通常時内容（花鼓準拠）が、拡張モードでは拡張時内容（詳細な設定）の設定が可能になります。

周波数調整器設定フォルダの中の"ArFltCnf.exe"をダブルクリックしてください。

下記周波数値設定ツール画面が開きます。適用ボタンを押すと周波数調整器へ設定値が送られ設定されます。デフォルト値以外の設定を行いたい場合は各設定項目の右上下押しボタンをクリックしてください。適用ボタンを押すと周波数調整器へ設定値が送られ設定されます。

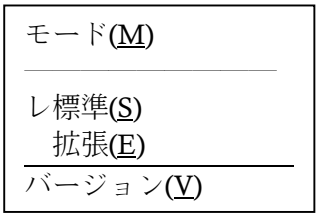


３．３．２設定値保存方法



ファイルには設定中の値を保存できます。
ファイルの拡張子は“*.DSP”として下さい。
ファイルの保存先のデフォルトフォルダは
カレントフォルダとして下さい。

３．３．３モード選択方法



モードには［標準］／［拡張］があり、
標準時には通常時内容で設定ができ、
拡張時には拡張時内容で設定ができます。

３．３．４設定確定方法

[適用]ボタンを押す事で、指定した値が周波数調整器ユニットに送られ設定されます。

ボタン名	内容
［適用］	このボタンを押下することによって､指定した値を周波数調整器ユニットに設定する。
［元に戻す］	このツールを起動したときまたはファイルから読み込んだときのパラメタに戻す。
［終了］	ツールを終了する。

３．４モジュール構成

３．４．１モジュール

ArFltCnf.Exe

３．４．２必要なモジュール

・VisualC++6.0 ランタイムライブラリ（Mfc42.dll、Msvcrt.dll、Oleaut32.dll、Olepro32.dll）
・ 周波数調整ライブラリ（USB タイプにてインストール）

３．４．３動作条件

・AT 互換機(DOS/V)パソコン（USB 端子があり、動作するもの）
（なお、NEC98NX では未確認のため動作保証外）
・Windows98（CPU133MHz 以上、メモリ 32MB 以上、本体インストールに HDD5MB 必要）
・USB 周波数調整装置(ANM-F1000) 、USB ケーブル